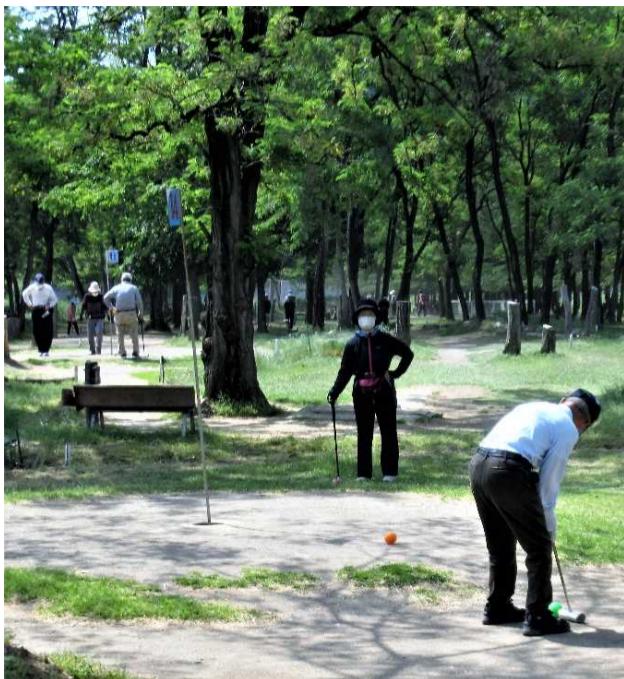


○千曲川堤防見学会
講師に市議の宮下省二さんをお迎えし、小学
生一名を含めた六名が参加しました。一昨年の台
風十九号の災害状況と復興の軌跡を、赤い鉄橋の
復旧の現場でお聞きしました。併せて、一七四二年
の大水害「戌の満水」の悲惨な被害状況の説明
もあり、改めて防災の重要性を認識しました。
また、現在千曲川は、外来魚コクチバスの増殖
という問題を抱えており、その対策が課題となつて
いることです。



心地よい新緑の中、ねらいを定めて。

○マレットゴルフ大会
晴天に恵まれ、小牧橋マレットゴルフ場で参加者
十二名による大会が開催されました。例年より少
なめではありましたが、豪快なショットとパッティング
で、爽快感を満喫しながら笑顔溢れる交流を楽し
みました。河川の地形を生かしたコースで、爽やか
な風とともに健康的に親睦を深めることができまし
た。なお、マレットゴルフクラブの皆さんのが積極的な
支援に心から感謝申し上げます。

五月三十日(日)、二年ぶりの交流親睦会が開催されました。感染症対策に留意しつつ規模を縮小して実施しましたが、四つのイベントに予想を超える四十数名の皆さんのが参加があり、大いに親睦を深めることができました。

令和かわら版

参加者の皆さんからは、「改めて諏訪形のことを知ることができ、とても良い企画でした。」とのお褒めの言葉をいただきました。

第7号
諏訪形自治会
会長:稻垣敦史



熱心に説明を聞く参加者の皆さん。実は、この場所に道祖神はありませんので、北田中道祖神を合成してあります(スミマセン)。この道祖神は、本当は城下小学校体験水田(窪田和人さん提供)のそばにあります。

別所線赤い鉄橋をバックに記念撮影をしました。
昭和30年代の諏訪形の千曲川は、今と違って左岸寄りを流れていて、諏訪形の子どもたちはよく川遊びをしたそうです。今だったらNGですね。



荒神宮では思いもかけず、今井宮司様からお祓いの神事を受けることができました。大幣(おおぬさ)で頭上をはらっていただき、人形紙に各自邪気を吹きかけ、お宮に託しました。

○諏訪形の神社巡り
諏訪形誌活用委員の窪田善雄さんを講師に、荒神宮と諏訪神社を巡りました。参加者は、講師も入れて十八名です。荒神宮では、本殿に奉納された絵馬の数々を見学、遠くは大阪からの例もあり、全国レベルで信仰を集めています。中国の故事を題材にした本殿彫刻も見事でした。その後、田植えを終えたばかりの水田の脇を歩き、諏訪神社へ向きました。途中、お葬式の風習で使われた「廻り場」も見学しました。

諏訪神社では、説明板の誤記の訂正の話や行方不明の棟札の話、さらに境内の別神社、天神社と蚕影社の来歴を説明してもらいました。諏訪神社に祀られている建御名方神は、「古事記」などに登場します。もちろん神話は歴史事実ではありませんが、縄文文化から弥生文化への転換、大和政権の拡大といった歴史事実を反映している

諏訪形誌刊行委員長北沢伴康さんを講師に、七名で諏訪形の五つの道祖神を巡りました。巡った順に、北田中道祖神、道近田道祖神、高町道祖神、東浦道祖神、堂村道祖神です。

諏訪形の皆さんも、五ヶ所の道祖神を探して、諏訪形の歴史の奥深さに触れてみてはいかがでしょうか。それぞれの場所は、「諏訪形誌」二五九ページをご参照ください。



○六月十九日(土) 土蔵撤去作業の開始



狭い道路と進む作業



下屋撤去作業完了

道路ギリギリに建つ土蔵。瓦ぶき、厚い土壁、側面下部を下見板張りで補強した典型的な農家倉庫。築百年ほどと思われます。



「まちづくり協議会」による廃屋空き家美化作業について、前号で報告しましたが、その継続事業に着手しました。所有者のご了解と、のべ九十二人のボランティアの皆さんのが協力をいただき、作業を完了することができました。深く感謝申し上げます。

○六月五日(土) 廃屋の下屋撤去作業

道路拡幅に向けて

東京オリンピックが目前となりました。いろいろな意味で歴史に残る大会となるでしょう。私たちは、その体験者となるのですね。

編集責任(副自治会長 逢田善雄)